

## ご あ い さ つ

皆様方におかれましては、平素から大変お世話になっており、改めて厚くお礼を申し上げます。

広島県内で新型コロナウイルス感染症が確認されて1年が経過しました。

医療従事者をはじめ最前線でご尽力いただいている全ての方々に感謝を申し上げます。

昨年11月下旬からの感染拡大では、医療崩壊の危機に直面するほど危険な状況に陥り、県は2カ月を超える集中対策を講じました。多くの皆様の協力により、ステージ1の状態に落ち着くことができましたが、変異株が確認されるなど油断してはならない状況は続いています。この間にお亡くなりになられた方々に改めて哀悼の意を捧げます。

新型コロナウイルス感染症は私達の生活を変え、経済活動に甚大な影響を与え続けています。これに対し県は、医療体制の確保、感染拡大防止、経済雇用対策など、令和3年度当初予算までの累計で2200億円を超える規模の様々な対策を講じてきておりますが、先行きが不透明な中、更に対策を強化していかなければなりません。ワクチン接種も急がれます。引き続き、県民の命と生活を守り、雇用の維持と本県経済の早期回復に向けて尽力してまいります。

さて、広島県議会2月定例会は、30日間にわたる審議を経て、3月16日に閉会しました。本会議では、「新型コロナウイルス感染症への対応」や「デジタルトランスフォーメーションの推進」など県政が直面する重要な課題について論戦が交わされ、国の3次補正を活用した補正予算と合わせて、合計1兆1,437億円規模の令和3年度当初予算が成立いたしました。

引き続き、広島県の発展と活力ある福山市の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月